

秦野版CCRC構想

Continuing
Care
Retirement
Community

【谷ゼミ～名水秦野～】

資産経営課	安齊 達也	(発案)
健康づくり課	宇佐美賀代	(分析)
開発建築指導課	三嶽 洋一	(立案)
議会事務局	岩田 和剛	(事例研究)
国県事業推進課	井上 拓磨	(調整)

【指導職員】

環境保全課長	谷 芳生
--------	------

【アドバイザー】

公共施設マネジメント課	久保谷敏行
-------------	-------

目次

- 1 はじめに
- 2 課題と提案目的
- 3 CCRCの定義と先進事例
- 4 秦野版CCRC構想概要
- 5 秦野版CCRCのモデルケース
- 6 おわりに

1 はじめに～人口減少のリスク

【秦野市人口ビジョン 29ページ】より

「人口減少や人口構造の変化は、労働人口や地域経済への影響だけではなく、**医療や福祉等のサービスの低下**、現役世代への負担増、**コミュニティの弱体化**など地域社会に大きな影響を及ぼすと推測される。

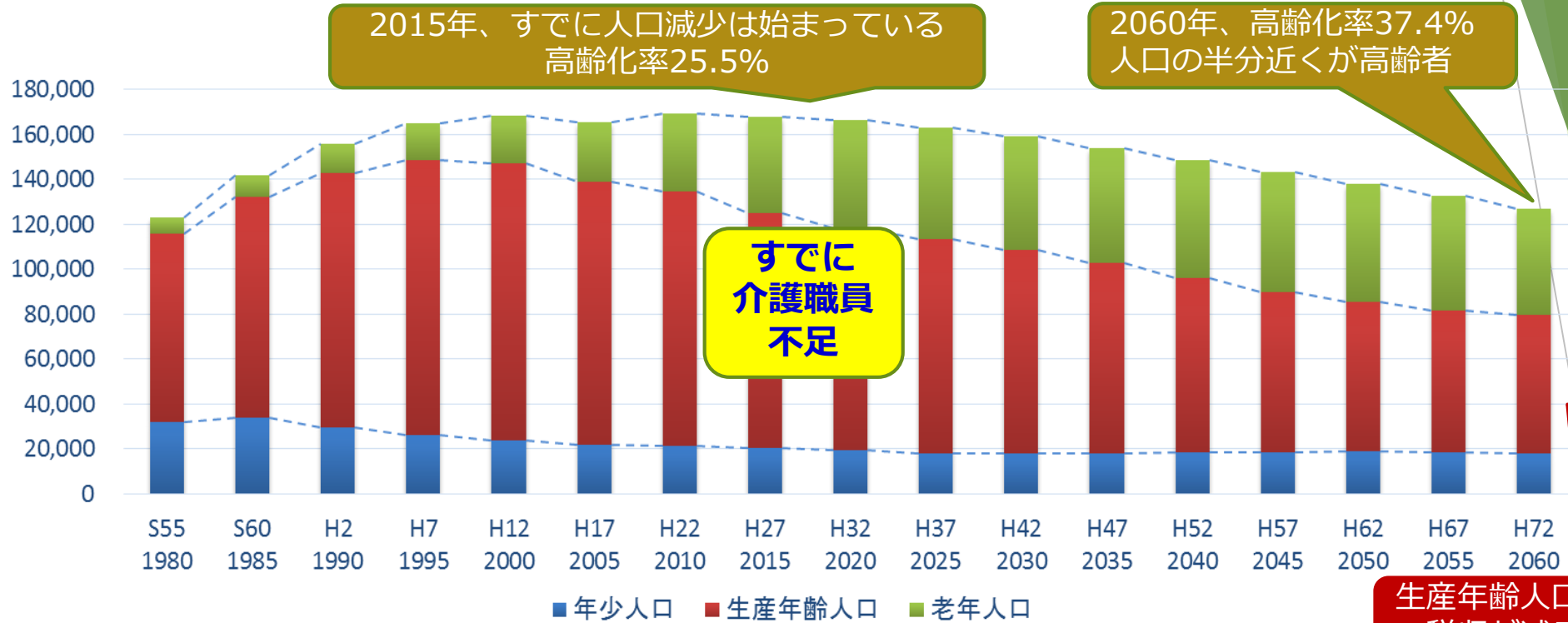
さらには、それぞれの影響が積み重なることで、**生活利便性の低下を招き**、そして**地域の魅力を低下させ**、人口減少に拍車をかけるという悪循環も懸念される。」



「秦野版CCRC構想」で

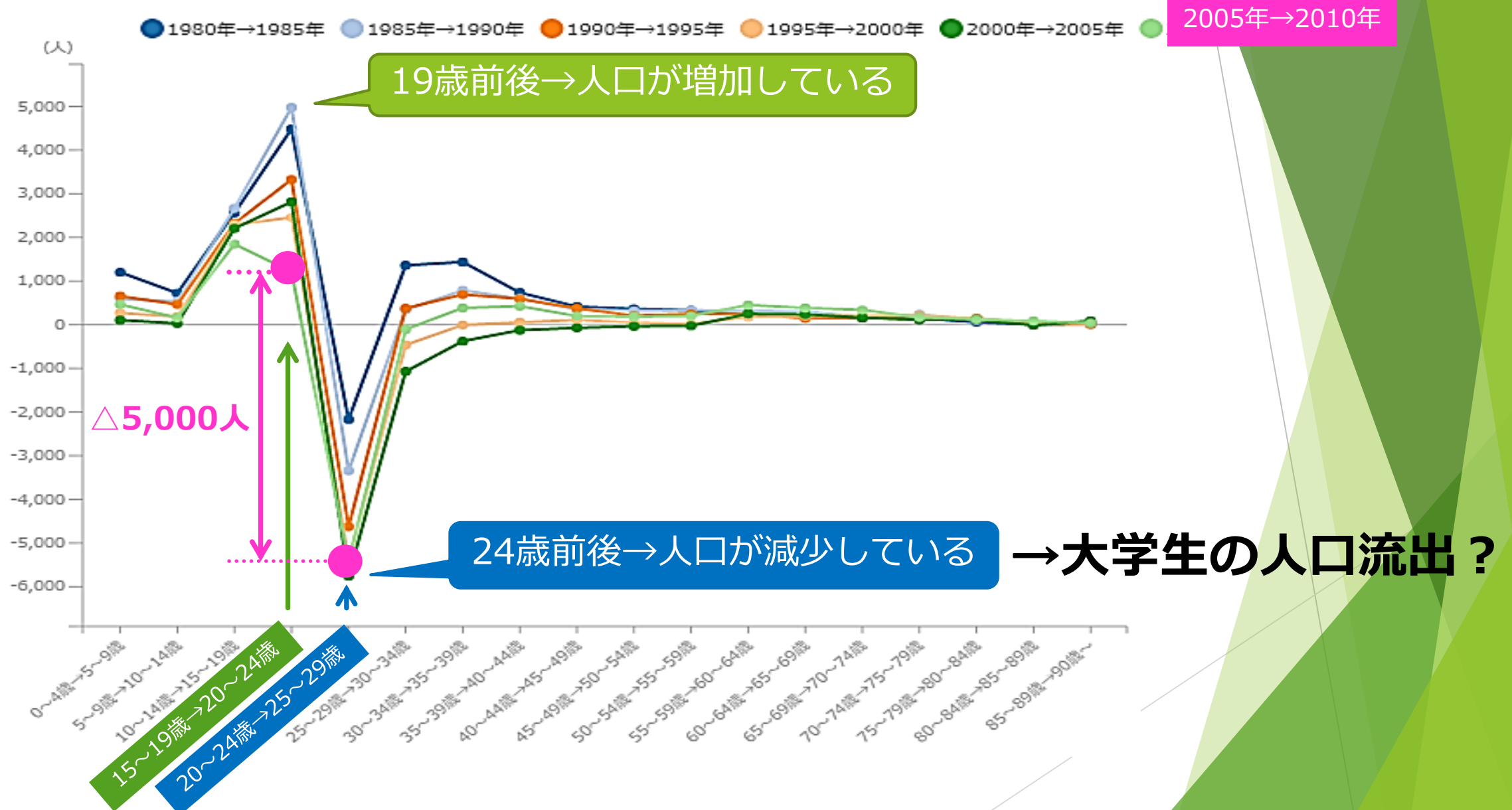
- ① **住みやすい地域コミュニティ** → **生活利便性の向上**
 - ② **医療や福祉等のサービスの充実**
 - ③ **地域の魅力の向上**
- を図ります！

2-1 本市の人口推計（人口減少化社会へ）



- ▶ 介護認定者数・介護保険料・決算額 ⇒ 年々増加
- ▶ 平成27年の介護認定者数 ⇒ 全体の約14%（6,000人超え）
- ▶ 介護保険料基準額 ⇒ 現在：5,200円→2025年：8,200円
- ▶ 要介護5の施設入所費用 ⇒ 約500万円／年

2-2 本市の世代別人口分布



2-3 課題と提案目的

課題1 介護保険認定者が増え、介護保険料が増加する



目的1

- ・ 世代を問わず地域活動への積極的な参加を促す
- ・ 継続的なケアを行い、**元の生活に戻ってもらう**

課題2 介護職員の人材不足



目的2

- ・ 医療・介護施設等と連携し、継続的なケアを行う
- ・ 地域力を活用し相互に協力し合うコミュニティづくりをする

課題3 高齢者が増え、生産年齢人口が減ることによる税収の低下
就職期の人口流出



目的3

- ・ 世代を問わず移住者を積極的に受け入れる
- ・ 大学を卒業してもそのまま秦野に定着してもらう

秦野版CCRC構想



3 CCRCの定義と先進事例

【内閣府 まち・ひと・しごと創生本部「生涯活躍のまち」構想より】

CCRC (Continuing Care Retirement Community)

- ◎ 地方や「まちなか」に移り住み
- ◎ 地域の住民（多世代）と交流
- ◎ 健康でアクティブな生活を送り
- ◎ 必要に応じて医療・介護を受けられる地域づくり

国交付金事業事例

近江八幡市～「安寧のまちづくり」プロジェクト

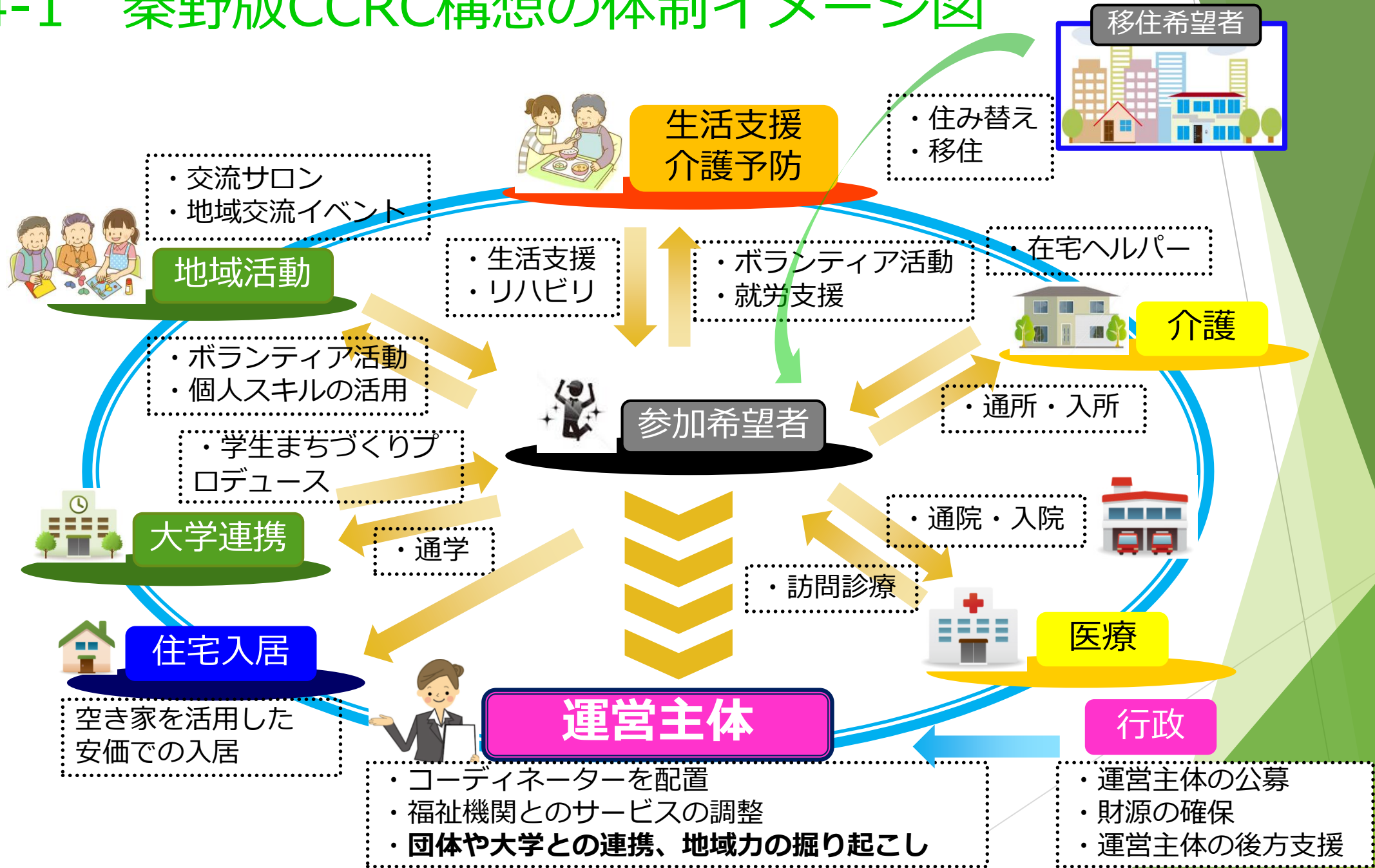
▽ 市内の歴史的景観（町家や水辺景観）がウリ

▽ **市民主体による**保全活動が古くから活発

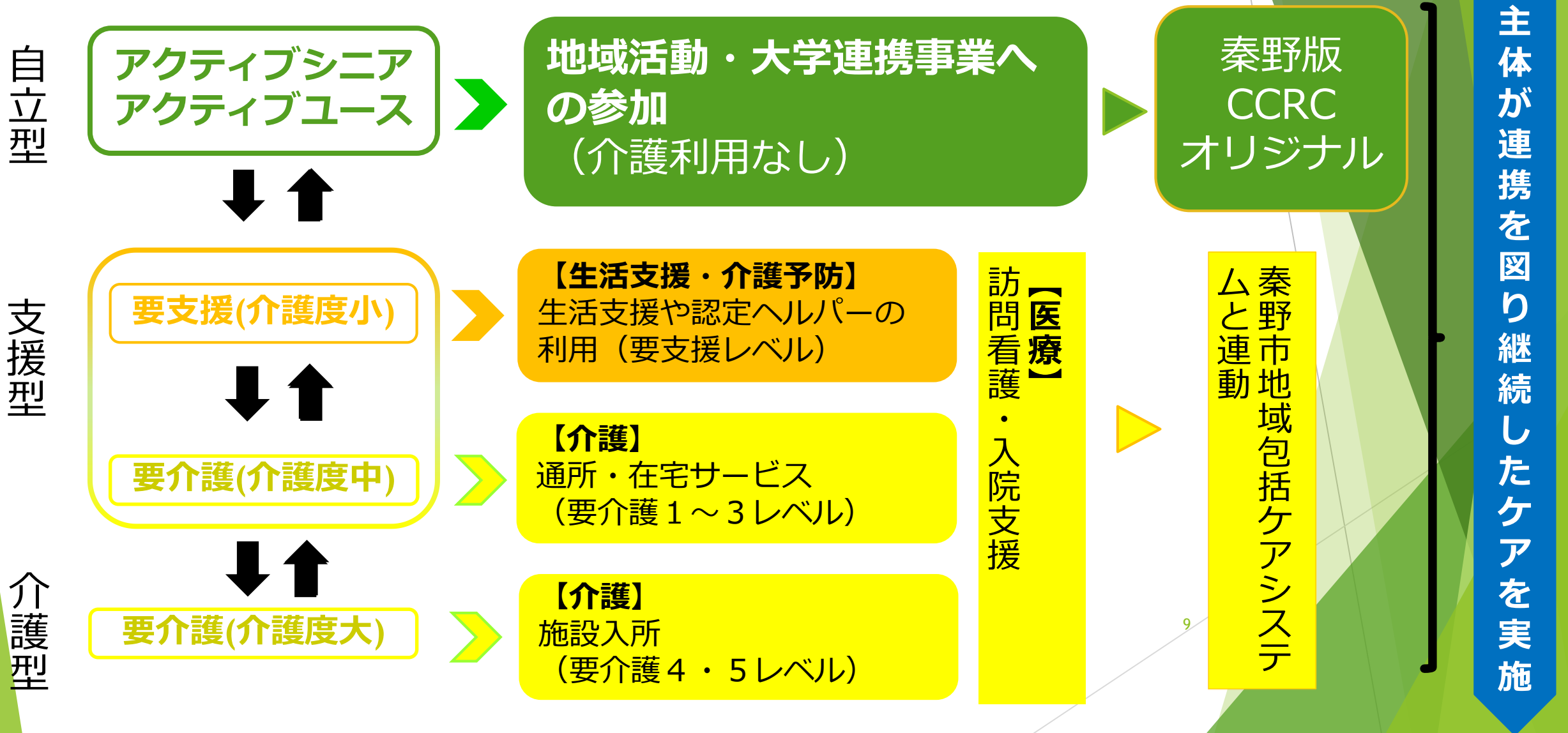
→ **市がまちの魅力を前面に押し出し、開発事業者を募集開始**
高齢者の移住者を呼び、既存コミュニティとの形成を図る



4-1 秦野版CCRC構想の体制イメージ図



4-2 参加希望者のケアシステム



5-1 秦野版CCRCのモデルケース～エリアの指定

【対象エリア】

- ・ 鶴巻地区（鶴巻温泉駅半径700m程度）

【エリア選定理由】

- ・ 高齢者の徒歩圏は700m程度
- ・ 医療、福祉、商業、公共交通が充実



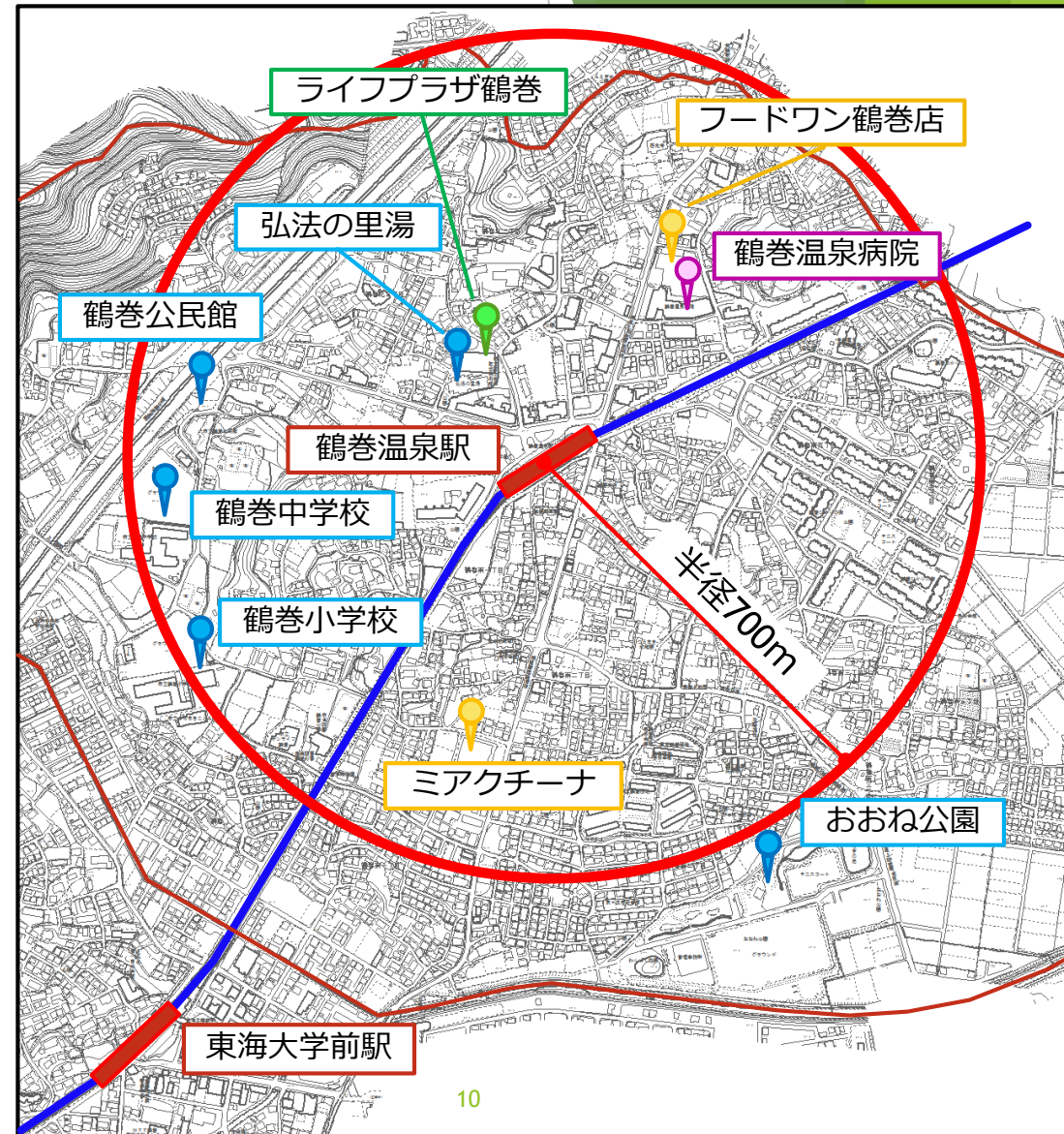
既存施設の活用が容易

- ・ 人口密度が高い



サービスの効率化

- ・ 魅力ある地域資源（温泉）



5-2 秦野版CCRCのモデルケース～体制づくり①

地域活動

《運営主体》

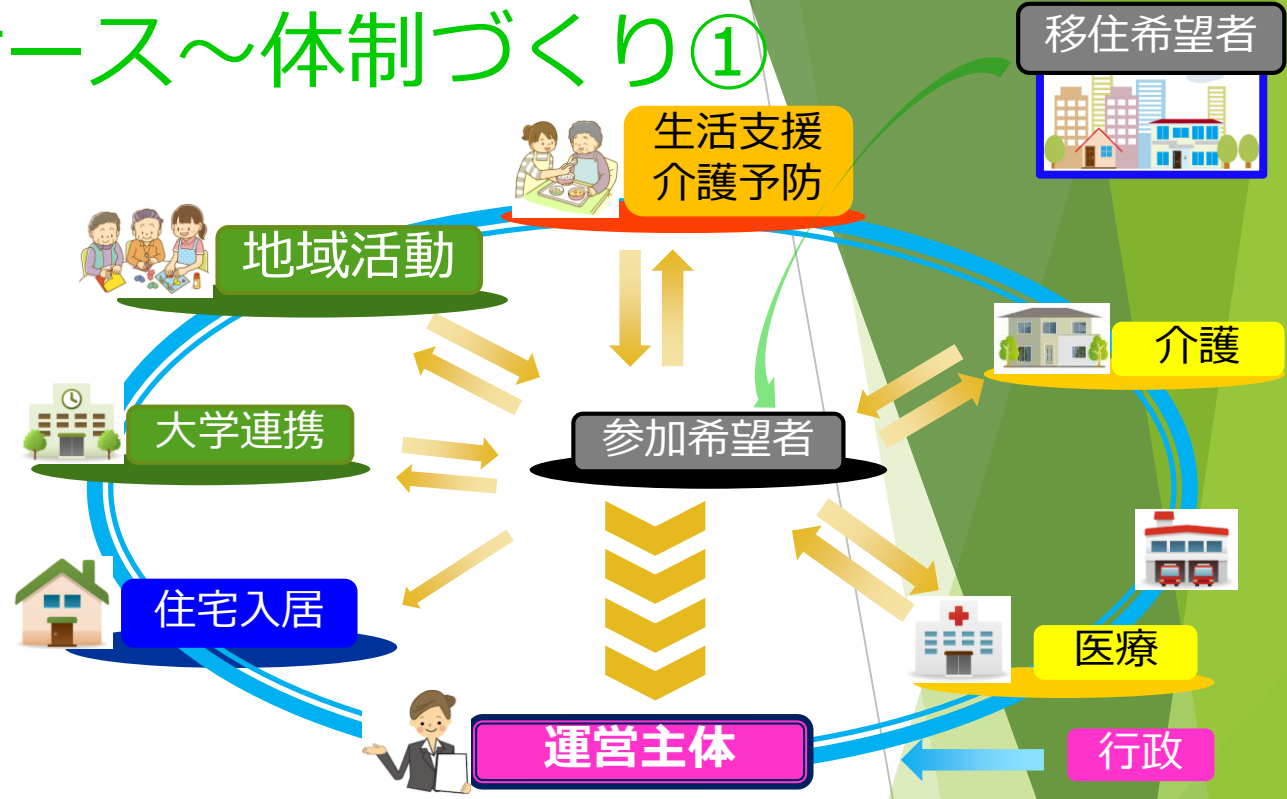
- 参加希望者のニーズを把握し、地域活動とマッチング
- 地域資源を活用し、地域団体や民間企業等との連携によるコミュニティビジネスや生きがいの創出

《活動内容》



- 子育て支援×就労
多世代交流サロン
- 生活支援×就労
多世代食堂
- 温泉×地元飲食店
足湯カフェ
- 温泉×サロン
温泉付寄席

...etc.

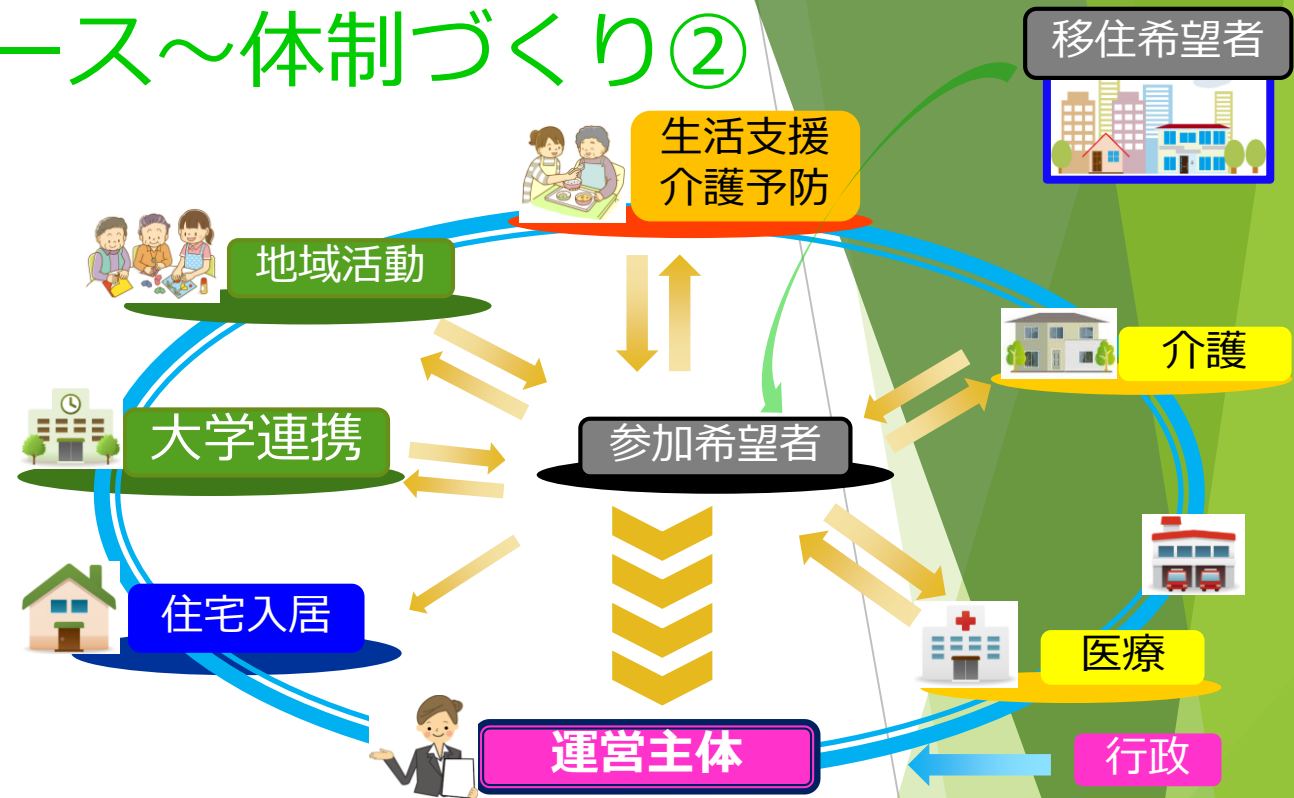


- 地域社会（多世代）との交流を通し、コミュニティの相互協力意識を高める
- 健康で豊かな生活を送り、健康寿命を引き上げる
- 地域活動を牽引する人材を育成する

5-3 秦野版CCRCのモデルケース～体制づくり②

大学連携①～学生プロデュース

- ・ 東海大学との「**秦野市と学生就職定住化促進に関する協定**」の締結
- ・ 「**あったかつるまき健康福祉村**」
駅チカ温泉を企画することで
本市への愛着を形成



《内容》

秦野市内及び
近隣市民間企業

東海大学
To-Collabo
(地域連携室)

説明会・インター
ンシップの受け入
れ・採用時免除項
目あり

駅チカ温泉プロデュース
(ゼミなどで活用OK!)

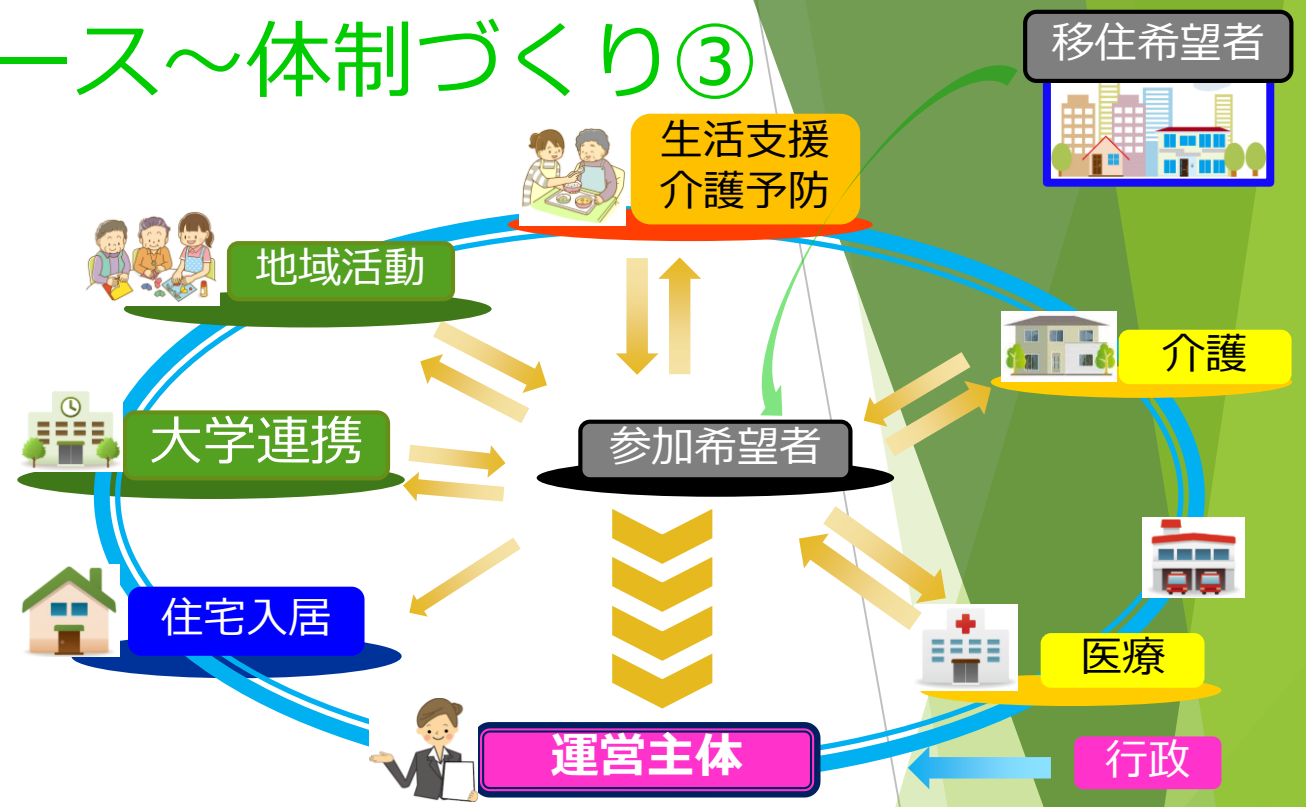
愛着や縁を形成による若者の定住化

大山観光コース等からの人の流れづ
くり、駅前機能の充実

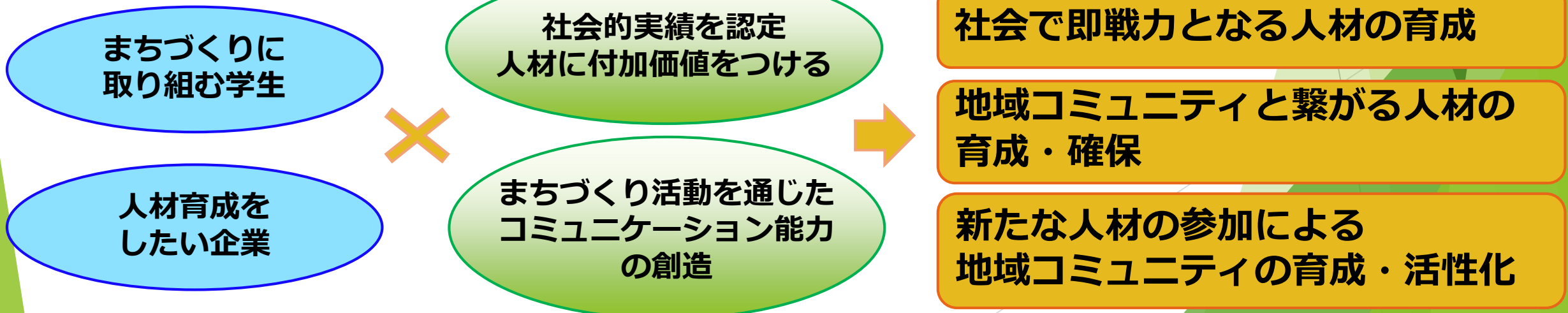
5-4 秦野版CCRCのモデルケース～体制づくり③

大学連携②～市施策として

- ・まちづくり活動に取り組む学生等を「HADANOプランナー」に認定、活動が見える化
- ・産学連携により、まちづくり活動を企業の研修先として広く提供、新しい人材育成の場をPR



《内容》

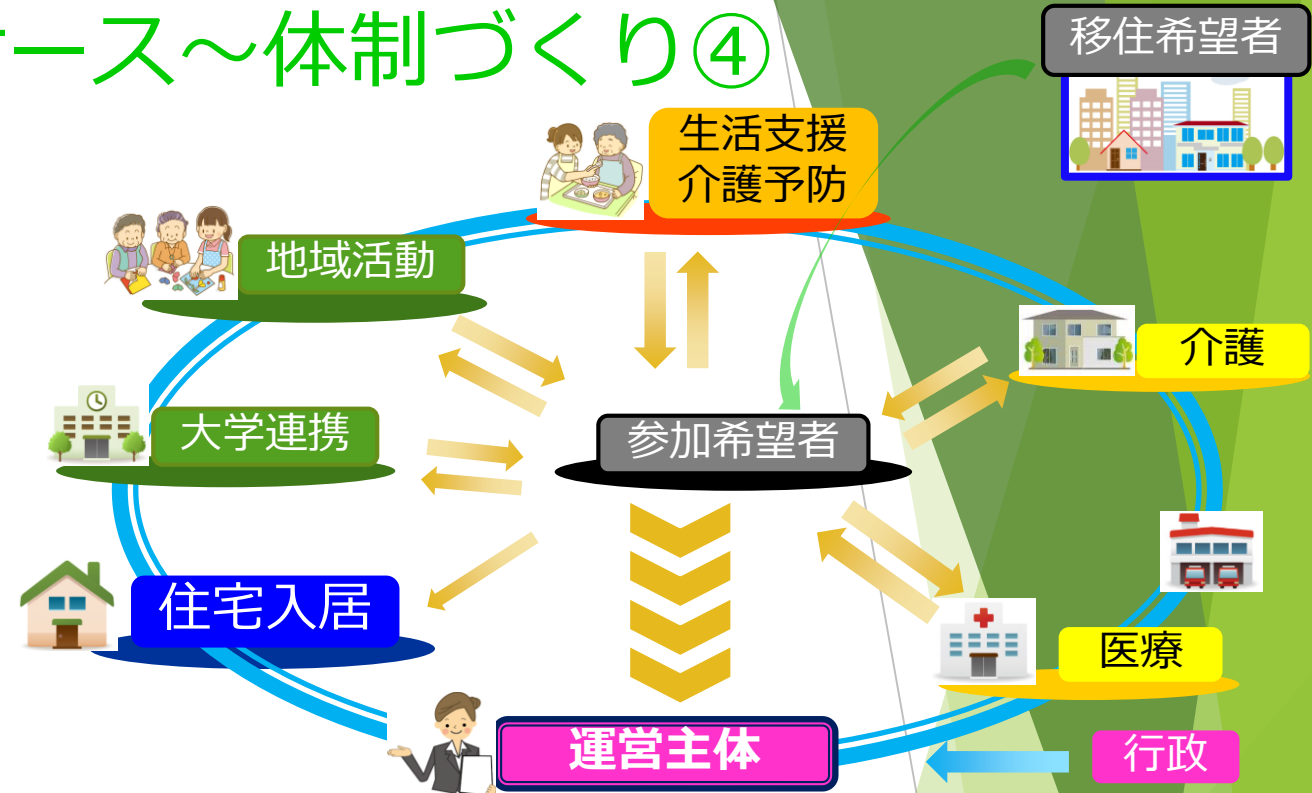
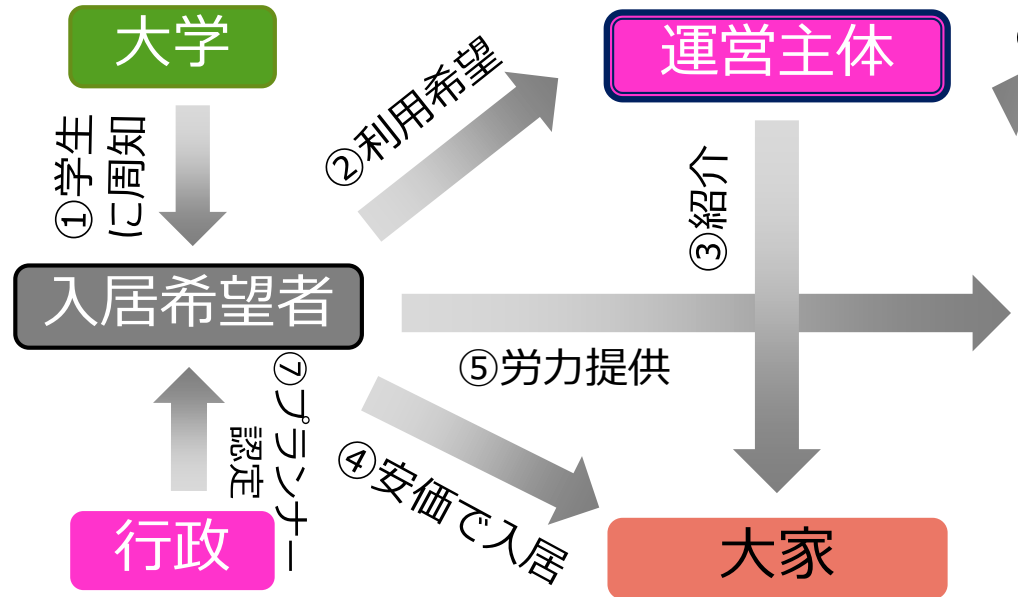


5-5 秦野版CCRCのモデルケース～体制づくり④

CCRC住宅施策

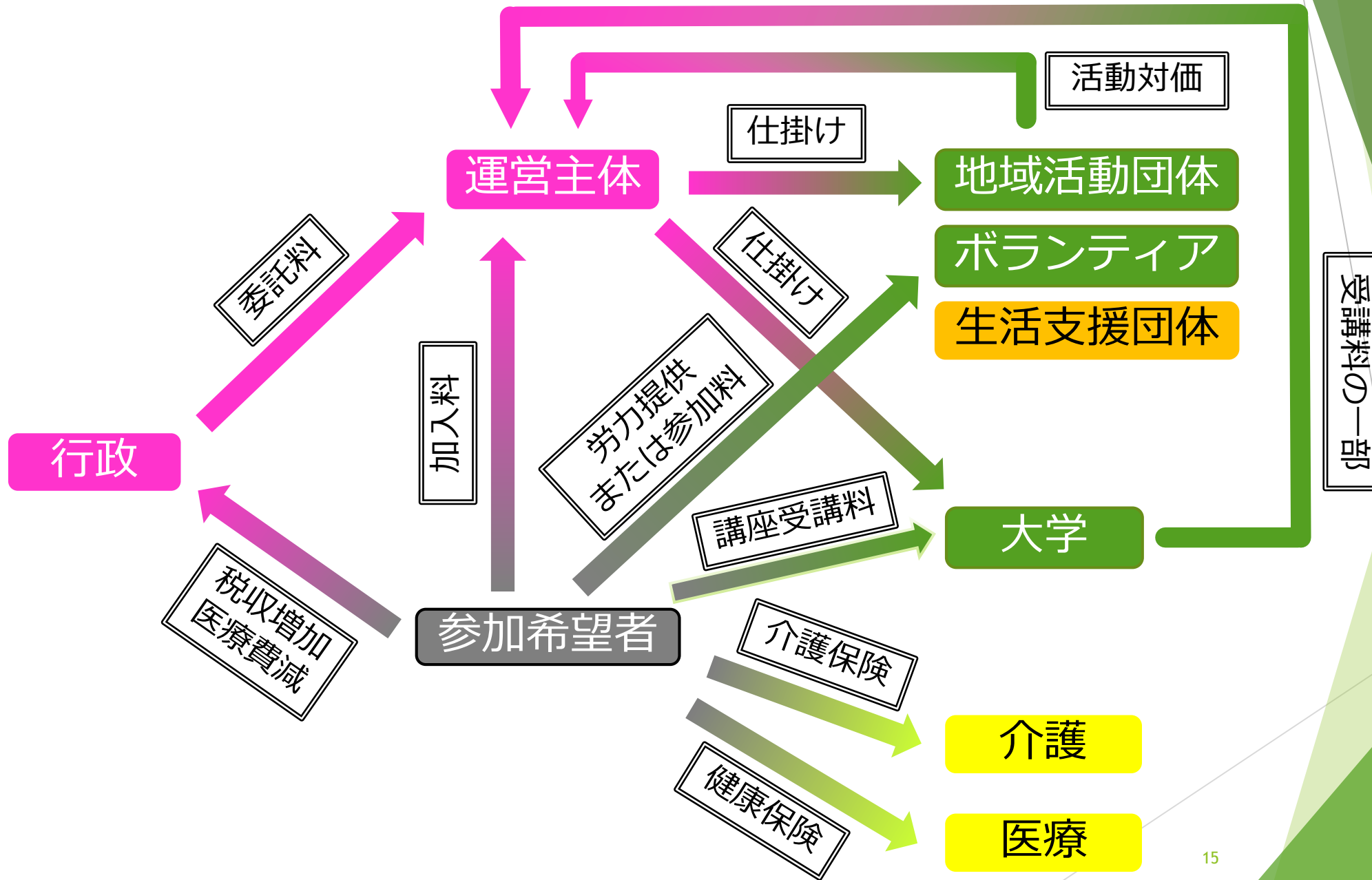
- ・ 空きアパートを活用し、参加希望者の生活支援活動や地域活動（月10時間程度を目安）を条件に安価で入居
- ・ それにより発生した対価は運営主体に還元

《流れ》



アクティブユース・シニアの定住化
空き家対策

5-6 秦野版CCRCの運用



6 おわりに～秦野版CCRCのポイント

ポイント1

地域コミュニティの創出による元気なまちづくり

→健康寿命の延伸、介護保険料の抑制

ポイント2

若者の力を活用した地域体力の増強

→生産年齢人口の確保

ポイント3

地域包括ケアシステムと連携した継続的支援

ポイント4

運営主体への委託による行政のスリム化

人口減少社会での
行政の縮減↓縮充へ！